

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	地域活力基盤創造交付金事業				開始年度	平成21年度	
基本目標	町道の整備				終了年度	平成21年度	
担当課(局)	建設管理課	担当係	土木係	記入者	永友優一	評価者	芥田秀則
21年度決算	129,616	22年度予算		千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	3,497 千円		22年度人件費	#VALUE!	事業従事者数	0.48 人	

事業の目的	歩道等を設置することで、安心して安全な歩行空間に寄与する。
事業の内容	用地・補償交渉 工事設計・発注

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 安全で快適な道路整備	道路改築により交通安全に寄与した。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 用地・補償交渉	地権者に事業説明をし、用地等の提供をもらった。
	2	
	3	

◎達成状況

	指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	安全で快適な道路整備	目標値	195	360	640
		実績値	195	360	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	用地・補償交渉	目標値	1	25	20
		実績値	1	25	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町道の改築であるので、町で行うべき。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	交通の安全に寄与することができた。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	補助事業で行うことで、一般財源からの持ち出しが削減された。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	地権者の理解と協力が必要。

事務事業名	地域活力基盤創造交付金事業	担当課(局)	建設管理課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	20年は、交通安全事業。21年は地域活力基盤整備事業。22年は社会資本整備事業と事業形態が少しずつ変化しているが、事業内容を十分に把握し展開していきたい。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
							○
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎全国的な事務費の不正支出に伴い、国費事業の事務費が0という事態になった。今後、有利な事業を模索し取り組んでもらいたい。 ◎補助金で対応しなければならない路線もあると思われるので、この事業で対応してもらいたい。
	コスト	拡充	